

## I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

### ①若者の地元就職を促進するための取組

⇒市と市内大学とが地元就職等に関する協定を締結し、市、市内大学、経済界の3者でラウンドテーブルを設置、学生の地元就職に向けた取り組みを強力に推進

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I = 重要業績評価指標		K P I 実績	
大学、自治体、経済団体等との連携による地元就職率の向上	北九州市立大学が代表校となり申請した文部科学省補助事業「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択を受け、本市及び下関市の大学等が、自治体、経済団体等と連携し進める「北九州・下関まなびとぴあ」に参画し、連携して地元就職率の向上などを目指した取組を推進する。学生の地域企業への就職を促進するため、インターンシップの拡充や「まなびとJOBステーション」等の活用を行うほか、シビックプライドの醸成、地域企業理解の深化、起業・事業化マインドの育成などを図る。	本市及び下関市の13大学等における取組  ・両市企業等へのインターンシップ人数 577人(H26年度) ⇒ 800人(H31年度)	H27	743人	
			H28	670人	
		・まなびとJOBステーションの利用人数 1,500人(H31年度)	H27	69人	
			H28	2,446人	

⇒国の「地方創生奨学金返還支援制度」を活用した本市独自の支援制度により、地元企業への就職や都市部の大学等からの就職を促進

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I = 重要業績評価指標		K P I 実績	
北九州市未来人材支援基金設置事業	北九州市内の企業で中長期的に活躍し、本市の産業を担う人材を全国から確保・育成することを目的に、市内企業への就職と定住を条件に奨学金の返還を支援する。	支援対象者数： 300人/年度(H30～32年度)	H27	—(H30～)	
			H28	—(H30～)	

⇒より多くの大学生によるまちづくり活動への積極的な参加を通じて、本市の魅力を  
知ってもらう取組の推進と持続可能な社会を実現するための人材の育成

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I = 重要業績評価指標	K P I 実績	
北九州まなびと ESD ステーション(*)を核とした実践的人材育成	市内 10 大学が連携し設置した「北九州まなびと ESD ステーション」を拠点に、25 の地域実践的協働プログラムを通じて、まちづくりを担う人材を育成する。	利用学生数： 21,116 人（H26 年度）⇒ 25,000 人（H31 年度） まなびとマイスター （認証制度）認定者数： リーダー40 人 マイスター0 人（H26 年度）⇒ リーダー100 人 マイスター10 人（H31 年度）	H27	利用学生数： 19,928 人 まなびとマイスター認定者数： リーダー52 人 マイスター2 人
			H28	利用学生数： 18,520 人 まなびとマイスター認定者数： リーダー67 人 マイスター5 人

※ E S D : 持続可能な社会を実現するための教育で、環境教育、人権教育など、幅広い教育を総合的に進めるもの。

⇒留学生等の地元就職への支援

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I = 重要業績評価指標	K P I 実績	
国際ブリッジ人材支援事業	「国際ブリッジ人材」として期待が高まる留学生の受入促進、勉学・生活支援及び地元企業就職促進を官民一体となって推進する目的で設立した「北九州市留学生支援ネットワーク」を活用し、支援の充実を図り、地域の国際競争力強化を目指す。	留学生等高度人材活用の向上（企業との相互理解が進んだ状態＝留学生が市内企業の情報を 4 社以上知っている）： 29.7%（H26 年度）⇒ 35%（H31 年度）	H27	—
			H28	— ※KPI の根拠となる留学生を対象とした調査は 3 年毎に実施。前回調査は H26 年度に実施し、次回は H29 年度実施予定。

## ①新社会(スマートシティ)創造によるアジア規模の都市展開

### (i)アジアの成長力を取り込み、共に成長する「都市まるごと」輸出

⇒アジア諸都市とのネットワーク拡充と地元企業の海外ビジネス展開支援

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I＝重要業績評価指標		
		K P I 実績		
東アジア経済交流推進機構推進事業	環黄海圏の日中韓 11 都市で構成する「東アジア経済交流推進機構」において、市長・会頭が集う総会を開催し、相互連携を強化するとともに、環境・観光・国際ビジネス分野での部会活動や共同プロジェクトを通じ、相互の経済交流を活性化し、東アジアの活力を本市に取り込むことを目指す。	東アジア経済交流推進機構における会議数： 5 件（H26 年度）⇒ 21 件（H27～31 年度）	H27	5 件
			H28	累計 4 件
中国ビジネスサポート拠点整備事業	駐大連・上海北九州市経済事務所を設置・運営し、地元企業のビジネスサポートや進出支援を行うとともに、本市と中国の都市とのネットワークを形成・強化する。	海外事務所を利用した企業数： 374 社（H26 年度）⇒ 380 社（H31 年度）	H27	388 社
			H28	466 社

## Ⅱ 北九州市への新しいひとの流れをつくる

### ① 首都圏などからの北九州への大規模な人材還流

⇒本市の魅力情報を首都圏へ積極的に発信し、まずは来てもらうための仕組みづくり

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
F1 層に届け！北九州シティプロモーション事業 【企画調整局】	F1 層（20～34 歳の女性）の「移住」「観光」のトレンドやニーズ、目的地決定の要素を把握するとともに、ニーズに合わせた情報発信を行う。	「北九州市の認知度に関するアンケート調査」（メディア、シンクタンク研究員対象） ①将来性があると思う都市 政令市 4 位（H26 年度） ⇒1 位（H31 年度）	H27	－（5 年に一度の調査、次回 H31）
			H28	－（5 年に一度の調査、次回 H31）
		「北九州市の認知度に関するアンケート調査」（メディア、シンクタンク研究員対象） ②住んでみたい都市 政令市 15 位（H26 年度） ⇒5 位以内（H31 年度）	H27	－（5 年に一度の調査、次回 H31）
			H28	－（5 年に一度の調査、次回 H31）

⇒首都圏等のアクティブシニアの北九州市への新しい人の流れをつくり、定住・移住の積極的な推進と地域経済の活性化を図る「北九州市版生涯活躍のまち」構築への取組

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
定住・移住促進事業（地方創生推進） 【企画調整局】	「定住・移住の促進」を図るため、本市の魅力発信、移住相談対応の充実、本市に移住してもらうための受入れ体制の強化、「北九州市版生涯活躍のまち」の推進など取組を進める。	北九州市への 50 歳以上の転入者増加数： 0 人（H28 年度）⇒ 348 人（H31 年度）	H27	－
			H28	△198 人

## ②北九州市出身の若者に対する本市への還流・定着

⇒首都圏などへ進学・就職した本市出身者への相談窓口の設置やコンシェルジュの派遣等の積極的なアプローチ

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
（仮称）北九州市学園祭 in Tokyo」開催事業（地方創生推進）	首都圏に進学・就職している本市出身の若い世代に向けて、北九州市の食や住環境、地元企業の魅力を紹介するイベントを都内で開催することで、Uターンへの機運を高めるとともに首都圏でのネットワーク構築を図る。	地方創生インターンシップやU I ターン情報発信：1,000 人分（H29 年度）	H27	－（H29）
			H28	－（H29）

## ③本市のポテンシャルを活かした地方拠点強化等を図る

### 企業等の集積

⇒大学等の集積・連携による教育、研究、社会貢献活動の充実促進

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
大学等誘致・整備促進事業	市内において大学等の設置等を行う学校法人等に支援することにより、大学等の誘致及び整備を促進する。	事業継続による大学等への支援	H27	0 件
			H28	2 件
学術・研究振興事業	市内の教育研究機能の充実を図るため、大学コンソーシアム関門等市内外の大学等が連携して行う教育などの取組を促進する。	大学連携促進助成金申請実績：6 件（H26 年度）⇒25 件（H27～31 年度）	H27	9 件
			H28	累計 14 件

## ④外国人が住みたくなる環境の整備

⇒留学や研修など外国人市民の増加が予想される中、受入れにあたって、安全・安心な生活環境を提供するための基盤整備

事業名等	概要	KPI（平成31年度）	KPI実績	
多文化共生推進事業	多様性が力となる多文化共生の推進のため、外国人市民の生活支援事業（行政通訳派遣等）や多文化共生意識啓発事業等を行う。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度： 43%（H25年度）⇒ 50%（H31年度）	H27	43.8%
			H28	49.9%
		行政・医療通訳の派遣件数 108件（H26年度）⇒ 200件（H31年度）	H27	74件
			H28	114件
多文化共生推進に伴うコーディネート支援	外国人市民への生活支援や、市民に対する国際理解の啓発、また市民の国際交流活動の支援を行い、地域における多文化共生社会の実現を推進する。（公益財団法人北九州国際交流協会への支援）	外国人市民の生活の向上（生活の困難度が軽減された状態＝とても暮らしやすい、まあまあ暮らしやすい）： 79.7%（H26年度）⇒ 80%（H31年度）	H27	-
			H28	- ※KPIの根拠となる外国人市民を対象とした調査は5年毎に実施しており、次回はH31年度に実施予定。
		外国人向け無料一般相談人数： 606人（H26年度）⇒ 1,200人（H31年度）	H27	592人
			H28	832人

## ⑥外国人観光客倍増など市外からの観光客増に向けた取組

⇒広域からの集客を狙った新たな観光拠点施設等の整備

事業名等	概要	KPI（平成31年度）	KPI実績	
小倉城周辺魅力向上事業（地方創生拠点整備）	小倉の歴史・文化を生かした居心地の良いおもてなし空間を創出するため、小倉城の物販等の施設整備や天守閣内の展示リニューアルを行う。これにより、小倉城エリアにおけるにぎわいの創出や観光客の回遊性向上、滞在時間の延長による消費の拡大などを図る。	小倉城来場者数： 15.3万人（H27年度）⇒ 19.1万人（H31年度）	H27	15.3万人
			H28	18.6万人

⇒世界的遺産を活かしたまちづくり

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
世界遺産魅力 発進事業	<p>平成 27 年 7 月に世界遺産登録された官営八幡製鐵所関連施設について、旧本事務所眺望スペースの運営等を通じた理解増進・情報発信活動を実施する。また、来訪者受入体制強化のため、資産紹介映像制作や説明員の充実を図るとともに、市外からの観光客誘致のための、ツール制作、周遊観光ルート構築を行い、ローカル・ブランディングの推進を図る。</p> <p>平成 28 年 11 月（現地時間）にユネスコ無形文化遺産に登録された「山・鉾・屋台行事」に含まれる戸畑祇園大山笠行事について、有形と無形の 2 つの世界的遺産のある街として、国内外へ積極的に発信し、にぎわい創出に向けた取組を進める。</p>	<p>旧本事務所眺望スペースの来場者数：5.6 万人/年（H27 年度） ⇒20 万人（H28～31 年度）</p>	H27	5.6 万人
			H28	2.7 万人

## IV時代に合った魅力的な都市をつくる

### ④国内外から人を惹きつける海峡都市圏の形成（関門連携）

⇒「かんもん海峡都市」観光まちびらき・形成推進事業の実施による関門ブランドの構築、関門地域の魅力向上

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I＝重要業績評価指標		
		H27	H28	
関門地域魅力向上事業（地方創生推進）	下関市と北九州市が連携し、「滞在・宿泊型」観光地としての関門ブランドを構築し、関門らしさの充実やネットワークづくり、プロモーションを実施するとともに、民間活力を導入した新たな観光スポットの整備を目指す。	宿泊者数、日帰り観光客数の増加に伴う消費の増加額：6,451,100 千円	H27	－
関門海峡都市・観光まちびらき連携事業（地方創生推進）	関門地域の地理的優位性や多彩な観光資源を活かすため、夜間ライトアップによる景観の向上や関門海峡周遊バスの運行、ビッグデータを活用した観光プロモーション、観光客向け多言語アプリの運営などを通じ、訪日観光客の受入環境を整備する。		H28	559,000 千円 （両市観光動態調査より算出）

⇒自然、歴史、文化、産業等の観光資源の発掘、ネットワーク化、パッケージ化

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I＝重要業績評価指標		
		H27	H28	
関門地域の活性化	北九州市と下関市による相互の連絡調整、広域的な課題の調査研究、首長同士の相互理解や、産業拠点の形成、大学間連携の推進等により、関門地域の活性化を図る。	共同 PR ツールの作成 トップ会談 5 回 (H27～31 年度)	H27	1 回
			H28	累計 2 回



## ⑤福岡県北東部地域市町との連携のさらなる強化

⇒「連携中枢都市圏」形成に向けた取組の推進（連携協約締結、都市圏ビジョン策定）

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I = 重要業績評価指標	
		K P I 実績	
新たな広域連携推進事業 （連携中枢都市圏構想）	近隣市町との協議を踏まえ、連携協約を締結し、連携中枢都市圏の形成を目指す。連携協約には、以下の 3 つの柱における政策の方向性や役割分担を定め、圏域の活性化を図る。 ○「圏域全体の経済成長のけん引」 ・戦略的な観光施策 ・地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 など ○「高次の都市機能の集積・強化」 ・医療サービスの提供 ・中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築 など ○「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」 ・介護・福祉などの生活機能 ・地域公共交通・ICT 整備などの結びつきやネットワーク強化など	連携中枢都市圏の形成 (H28. 4. 18)	
		H27	—
		H28	16 市町と連携協約締結（圏域形成済）

⇒連携中枢都市圏構想の推進

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I = 重要業績評価指標	
		K P I 実績	
新たな広域連携推進事業	平成 28 年 4 月に近隣 16 市町と連携中枢都市圏「北九州都市圏」を形成。圏域の将来像や具体的な連携事業を掲載する「都市圏ビジョン」の着実な推進により圏域人口の急速な減少抑制を目指す。	都市圏ビジョン掲載の事業のうち、事業を実施した割合： 69%（H28 年度）⇒ 90%（H31 年度）	
		H27	—
		H28	75%

⇒連携中枢都市圏「北九州都市圏域」による『きりん』の輝き推進事業の実施による「北九州都市圏域」を形成する近隣 16 市町と連携、圏域の包括的な魅力向上

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I＝重要業績評価指標		K P I 実績	
北九州都市圏域連携事業（地方創生推進）	北九州市と近隣 16 市町で形成した連携中枢都市圏「北九州都市圏域」のブランディングや、主に首都圏でのプロモーションを行う。	北九州年圏域内への観光客数：3,658 万人(H31 年度)	H27	—	調査中
			H28	調査中	
		北九州都市圏域内の宿泊者数：178.6 万人(H31 年度)	H27	—	
			H28	調査中	
世界遺産魅力発進事業（地方創生推進）	平成 27 年 7 月に世界遺産登録された官営八幡製鐵所関連施設について、旧本事務所眺望スペースの運営等を通じた理解増進・情報発信活動を実施する。また、来訪者受入体制強化のため、資産紹介映像制作や説明員の充実を図るとともに、市外からの観光客誘致のための、ツール制作、周遊観光ルート構築を行い、ローカル・ブランディングの推進を図る。				

⇒東九州自動車道全線開通を見据えた集客促進事業の推進

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I＝重要業績評価指標		K P I 実績	
沿線自治体との連携推進	東九州自動車道沿線自治体（福岡県、大分県、宮崎県内の 25 市町）との連携を図り、集客促進事業を推進する。	集客イベントの毎年度開催	H27	1 回	1 回
			H28	1 回	

⇒地域ブランド育成に向けた広域連携のさらなる推進

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I＝重要業績評価指標		K P I 実績	
広域連携推進事業	福岡県北東部地域市町との地域ブランド育成に向けた連携を推進する。	ブランド構築のための推進事業（イベント等）の共同を毎年度実施	H27	1 回	1 回
			H28	1 回	

## ⑥人口減少等を踏まえた都市のリノベーションの推進

⇒公共施設のマネジメント

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度） ※K P I＝重要業績評価指標	K P I 実績	
公共施設マネジメント推進事業 <b>事業終了</b>	本市の公共施設マネジメント方針に基づき、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取組を進める。	施設分野別実行計画、モデルプロジェクト地域の公共施設再配置計画の策定： (H27 年度)	H27	施設分野別実行計画、モデルプロジェクト地域の公共施設再配置計画の策定
			H28	－
公共施設マネジメント推進事業	本市の公共施設マネジメント実行計画に基づき、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取組を進める。 具体的には、施設分野ごとのマネジメント計画による公共施設の集約等を推進する。 加えて、老朽化した公共施設が点在する門司港地域・大里地域において、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで市民サービスの効率化及び地域の活性化等を図る。	5 ヶ年行動計画に基づく公共施設の集約等の推進 (H28 年度以降毎年度) 門司港地域 ・複合公共施設の整備の推進 (H33 年度整備予定) 大里地域 ・居住ゾーンの公募実施 (H30 年度)・旧門司競輪場跡地の公園暫定整備 (H31 年度)	H27	－
			H28	・5 ヶ年行動計画策定 PDCA サイクルによる公共施設の集約等の推進  ・モデルプロジェクトの推進 市民説明会等の実施、有識者等からなる懇話会の設置 <b>【門司港地域】</b> 民間事業者ヒアリング、事業スキームの検討など <b>【大里地域】</b> 門司競輪場跡地の土地利用方針検討、民間事業者ヒアリング

## ⑧シビックプライド(北九州市への愛着・自信・誇りなど)の醸成

⇒本市の誇れる資源（人、モノ、文化、歴史など）の積極的なP Rの実施

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I＝重要業績評価指標	K P I 実績	
北九州市ミュージアム構想 推進事業 【企画調整局】	まち全体を屋根のないミュージアムに見立て、市内各地の様々な地域資源を展示品にたとえ、市民の手でこれらを発掘・再発見し、さらに情報の共有や補足等を行うことで地域資源を磨き上げ、効率的な情報発信を展開する。	本市への好感度・誇りに関するアンケート調査において「本市が好きだ」と答えた市民の割合： 78.5%（H25年度）⇒ 90%以上（H31年度）	H27	83.5%
			H28	84.8%